

令和 3年 8月18日

第71次 印旛地区教育研究集会

## 進路指導研究部 提案資料

第三部会 白井市立南山中学校 後藤裕明

# 「生きる力を育てる進路指導 ～キャリア教育の視点にたった進路指導～」

白井市立南山中学校  
教諭 後藤 裕明

## 1. 研究主題

「生きる力を育てる進路指導」～キャリア教育の視点にたった進路指導～

啓発的体験活動と学校生活のいろいろな場面を用いて、生きる力の育成をはかる

## 2. 本校の概要

### (1) 学区の概要

本校は千葉ニュータウンの一角にある閑静な住宅地の中にある。住民の地域への関心は高く、保護者の教育への意識は高い。都内に通勤する保護者が多く、高学歴で経済的にも豊かである家庭が多い。

### (2) 生徒の実態

生徒の多くは学習に積極的に取り組む傾向にあり、落ち着いた学校である。学力的には市内でも上位を示し、全国学力・学習状況調査や千葉県標準学力検査(R1から未実施)を見ても、学力は十分に備わっている。しかし、テストはできるが、学んだことを活かして活動することが苦手である。また、コミュニケーションをとるのが苦手で、友達とのつきあいも表面的なものにとどまってしまう傾向が強い。グループに固執し一度関係が崩れてしまうと、人間関係を再構築できない生徒が少なくない。学校評価においても、職員から生徒のコミュニケーション能力の不足が挙げられている。これはコミュニケーション能力を高める経験の不足が背景にあると感じている。ICTを巧みに利用することで簡単に情報を取り入れることができる時代、他者との会話から気持ちを汲み取ったり、意見を取り入れて考えを深めたりすることが苦手という側面はまさに現代の中学生の姿であろう。

生徒自身が進路に対してどのような意識を持っているのか、将来に向けてどのような力をつけたいと思っているのかを把握したいと考え、国立教育政策研究所生徒指導研究センターのリーフレット「キャリア教育って結局何なんだ?」を参考に、キャリア教育についての意識アンケートを行った。質問を3部構成にして、回答は「はい」・「どちらかといえばはい」・「どちらかといえばいいえ」・「いいえ」の4段階に分けた。以下、第1部では「はい」・「どちらかといえばはい」と答えた割合、第2部・3部では「はい」・「どちらかといえばはい」と答えた割合が全体の80%に満たないもののみを挙げる。

第1部ではキャリア発達の課題を各学年(○内の数字は学年を表す)4項目ずつ設定した。

- ①自分の良さや個性がわかりますか。(78%)
- ①自己と他者の違いに気づき、尊重することができますか。(91%)
- ①集団の一員として自分の役割を理解し、果たそうとしていますか。(89%)
- ①将来に対する漠然とした夢やあこがれを抱いていますか。(79%)
- ②自分の言動が他人に及ぼす影響について理解していますか。(89%)
- ②自分は社会の一員だという自覚がありますか。(80%)
- ②感情や意見にとらわれず、ものを見たり考えたりするようにしていますか。(77%)
- ②将来の夢を達成する上での問題に対し、考えたり試したりしていますか。(75%)
- ③自己と他者の個性を尊重し、人間関係が円滑に進むようにしていますか。(91%)
- ③社会の一員としての義務と責任を理解していますか。(77%)
- ③将来設計を達成するための課題を持っていますか。(72%)
- ③将来設計を達成するために、それを克服する努力をしていますか。(72%)

第2部では「現在の学習と将来の仕事との結びつきに対する意識」を調査した。

- 勉強は楽しいですか。(59%)
- 各教科で学習していることは、日常生活に役立つと思いますか。(75%)
- 道徳や総合的な学習の時間、特別活動で学習していることは、日常生活に役立つと思いますか。(76%)

第3部では「生き方や進路について考えるために学習したいこと」を調査した。

- 学ぶことや働くことの意義(44%)
- 進路選択の考え方や方法(41%)
- 自分の個性や適性を考えること(43%)
- 将来の生き方や人生設計(51%)
- 高校などの上級学校や企業への合格・採用の可能性(45%)

【その他】 よい職のを見つけかた、就きかた  
 人とのよい関係を築く方法  
 自分の進みたい道を詳しく調べる

キャリア教育アンケートによると、他者を尊重しながらも自己肯定感を持つことができている生徒や今の学習が将来の進路とどのように結びつのか理解できていない生徒が多いという実態がうかがえる。

また、進路学習について「高校などの上級学校の情報を知りたい」のではなく、早いうちから自分の個性や適性、将来の生き方などを考えたい生徒が多くいることもわかった。それぞれの教育活動、特に教科等の学習指導において、キャリア教育の視点を忘れずに働きかけ充実した指導をしていくことや、学校と社会、職業を結び、将来の夢と学業を結びつけることにより意欲を喚起することが課題である。

キャリア教育アンケート

学年( )年 男子 女子

1…「はい」 2…「どちらかといえば「はい」」 3…「どちらかといえば「いいえ」」 4…「いいえ」

質問紙に一番近いものに○をつけてください。

1 自分の向きや個性がわかりますか。	1	2	3	4
2 自己と他者の違いを知り、尊重することができますか。	1	2	3	4
3 集団の一員として自分の役割を理解し、果たそうとしていますか。	1	2	3	4
4 将来に対する興味とした夢やめざしがはらわれていますか。	1	2	3	4
5 自分の行動が他人に及ぼす影響について理解していますか。	1	2	3	4
6 自分は社会の一員だという自覚がありますか。	1	2	3	4
7 感情や意見にとらわれず、ものを見たり考えたりするようにしていますか。	1	2	3	4
8 将来の夢を達成する上で困難に対し、考えたり試したりしていますか。	1	2	3	4
9 自己と他者の個性を尊重し、人間関係が円滑に進むようにしていますか。	1	2	3	4
10 社会の一員としての義務と責任を理解していますか。	1	2	3	4
11 将来設計を達成するための課題を持っていますか。	1	2	3	4
12 将来設計を達成するために、それを達成する努力をしていますか。	1	2	3	4
13 勉強は楽しいですか。	1	2	3	4
14 各教科で学習していることは、日常生活に役立つと思いますか。	1	2	3	4
15 道徳や総合的な学習の時間、特別活動で学習していることは、日常生活に役立つと思いますか。	1	2	3	4
16 夢や進路、進路などの学校生活は将来役に立つと思いますか。	1	2	3	4
17 将来、自分がやりたい仕事に就くために必要と認められる必要があると思いますか。	1	2	3	4

17 生き方や進路について考えるために学習したいことはどんなことですか。学校で学んでいるものでもよいです。  にチェックしてください。(複数回答可)

学ぶことや働くことの意義  進路選択の考え方や方法

自分の個性や適性を考えること  上級学校の教育内容や特色

将来の生き方や人生設計  高校などの上級学校や企業への合格・採用の可能性

その他 ( )

ありがとうございました。

- 1 -

### (3) 学校教育目標

「共生の精神で、自他共に成長し、新しい時代を心やさしく、たくましく生きる生徒の育成」

### (4) 各学年の具体的指導と各教科との関連

第1学年	第2学年	第3学年
<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な職業調べ</li> <li>・将来の職業希望調査の実施</li> <li>・自己理解と進路計画作成</li> <li>・進路情報の精選と提供</li> <li>・職業理解のための情報収集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験学習の実施</li> <li>・上級学校調べ</li> <li>・学ぶための制度と機会</li> <li>・進路情報の精選と提供</li> <li>・自己の適性・自己理解の一層の深化と進路計画の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路計画の検討</li> <li>・体験入学、高校訪問の実施</li> <li>・進路相談の充実</li> <li>・進路情報の精選と提供</li> <li>・進路指導室の充実と活用</li> <li>・インターネットの活用</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育「職業人に学ぶ」</li> <li>・校外学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育「職場体験学習」</li> <li>・自然体験学習</li> <li>・立春日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育「進路学習」</li> <li>・修学旅行</li> <li>・進路集会</li> </ul>

各教科におけるキャリア教育との関連で身につけさせたい態度・能力			
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを的確に表現する。</li> <li>・自分の考えを論理的な文章で書く。</li> <li>・自分の考えをわかりやすく伝える。</li> </ul>	保健 体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題に沿って自ら解決のために努力できる。</li> <li>・課題を克服することにより、自己にあった運動を見つける。</li> <li>・健康な生き方について考えながら生活する。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題を解決する調べ方を身につける。</li> <li>・図書館やインターネットなどの多くの情報の中から必要な情報を収集する。</li> </ul>	技術 ・ 家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な生活に問題を見出し、よりよく解決する。</li> <li>・学習成果を生活に応用しようとする。</li> <li>・工夫し、創造しようとする。</li> </ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>事象を数理的に考察する。</li> <li>・論理的に説明する。</li> </ul>	英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーション能力の基礎を身につけようとする。</li> <li>・ディベートやスピーチなどで自己主張する。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら課題を見つける。</li> <li>・観察や実験から問題を発見でき、解決するための課題を設定でき、課題を解決するための方法を見通すことができる。</li> </ul>	道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>人との関わりの中で、自己の生き方を考える。</li> <li>・他者を思いやり、他者の良さを学ぶ。</li> <li>ピアサポート</li> <li>・豊かな人間関係作り</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>感動する心を持つ。</li> <li>・表現の基礎的な技能を身につける。</li> </ul>	特別 活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団生活や体験を通して、心身の発達をはかる。</li> <li>・活動を通して、自主性を養う。</li> <li>・キャリアパスポートの作成</li> </ul>
美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>造形活動に主体的に取り組む。</li> <li>・形として表現する方法を身につける。</li> </ul>	総合 学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来の目標を持ち、自分の行動に対して意思決定でき、課題の解決に向けて計画的に行動できる。</li> </ul>

### 3. 研究仮説 「生きる力を育てる進路指導」～キャリア教育の視点にたった進路指導～

啓発的体験活動と学校生活のいろいろな場面を用いて、生きる力の育成をはかる

啓発的体験活動と調べ学習としての総合的な学習の時間、計画的な学級活動における進路学習を組み合わせることで、学校教育全体で生徒達に「生きる力を育てる進路指導」となっていくだろう。行事や日常生活への取り組みひとつひとつがそれぞれの「生き方」につながることを意識させることで将来につながる進路指導となると考えることができるだろう。

#### 4. 実践内容

##### ア) 第1学年「職業人に学ぶⅠ 職業人にインタビュー」

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その仕事で働く人でないと味わえない「良さ」「大変さ」「やりがい」等を話してもらうことで自分の将来の職業生活を考えるきっかけとする。</li> <li>・インタビューのお願いから実践を通じてマナーや言葉遣いなどを学ぶ場とする。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働く意味とはを生徒達に考えさせるきっかけとする。働く意味とは「経済性」だけでなく、「社会性」「自分のやりがい・好きなこと」「名誉志向」「安定志向」「家族志向」等いろいろな理由があることを知る</li> </ul>
講師	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親戚関係、日頃訪れる店、友人の保護者等、自分でお願いできる職業人を設定する。</li> <li>・グループで1人にお願いするのも可とする。</li> <li>・個人名を特定できないようにすることも留意点のひとつとする。</li> </ul>
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供達にインタビューされると「お金のため」「家族を養うため」といった答えが多くなってしまう。インタビュー前に学年からの文書を読んでもらい、生徒達に働く理由とは「経済性」ばかりではないということに気づかせたいとお願いした。そのため働く理由の多様性に気づくことができた。</li> <li>・保護者関係以外となるとスーパー、コンビニ関係が多くなってしまう部分が課題である。</li> <li>・掲示する場合、個人情報に留意する必要がある。また子供に自分の職業の詳細を知られたくない保護者もいることを知っておく必要がある。</li> <li>・コロナ渦で2年間実践できていない。ネットによる職業調査しか実践できていない。</li> </ul>

<資料1>を参照

##### イ) 第1学年「職業人に学ぶⅡ 職業人講話」

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業人の生き方を講話や体験学習から学び、将来のキャリア形成に向けて必要な能力や、職業観・勤労観を身につけていく意欲を養う。</li> <li>・講師との対話などを通して、社会人としてのマナーや言葉遣いなどを学ぶ場とする。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に話を聞いてみたい職種、話の内容のアンケートをとり、講師を依頼。</li> <li>・「その職業の内容」「働くこととは」「働くことの良さと大変さ」は、全講師共通の話題としてもらう。</li> <li>・講師に8つの教室に分かれていただき、ワークショップ方式で、あらかじめ生徒が講座を選択し、分配された講座に分かれて話を聞く。</li> <li>・50分講座を2コマ設け、生徒は2つの講話を聞くことができる。</li> <li>・講座別の運営や講師案内など生徒達の手で行うことで、マナーを学び、自分の責任を果たす場とする。</li> </ul>
講師	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者、祖父母や兄弟姉妹、地域の方など (旅行業 警察官 消防士 看護師 建設業 保育士 美容師 獣医師 薬剤師 新聞記者 市役所 梨農家 他 )</li> <li>・学校から、講師推薦(自薦・他薦)のお願いの文書を出した年もある。</li> </ul>
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が興味を持った職業の方からの話は、生徒達に大きな印象を与えてくれた。「働くこととは」の話で、それぞれがそれぞれの考えを持っていることに気づけたのも大きい。</li> <li>・学校行事と講師の方のスケジュールが合わず、予定していたが参加できず残念な方もいた。急遽の変更へ備え、講師の方の人数は余裕を持った人数にしていかなければならない。</li> <li>・コロナ渦で2年間実践できていない。</li> </ul>

<資料2>を参照

ウ) 第2学年「職場体験学習」

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働くことを体験することによって、社会の一員としての自覚を高め、自己の職業適性について検討し、進路選択における「自己理解」を深めさせる。</li> <li>・働く人々に接することにより、働くことの喜びや苦勞、生き甲斐などを知り、望ましい「職業観」「勤労観」等の「観」の指導に生かす。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場でどのような作業が行われ、働いている方々がどのような考えを持って仕事をしているか、実際に作業または見学し、学習する。</li> <li>・事前学習から体験当日、事後学習を通じて、働くことを意識し、自分の将来の職業生活に対する意識を高める。</li> <li>・社会とのつながりを意識する取り組みを重ねる。</li> <li>・事後学習として自らの体験をまとめ発表することで、プレゼンテーション力を高める。</li> </ul>
場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徒歩・自転車・公共機関を利用し、30分程度で行ける範囲の事業所を中心とする。</li> <li>・白井市は、職場体験協力事業所一覧を作成している。それらを中心に事業所を選定し、また生徒達の希望に応えられるよう職員でも新規事業所を開拓し、願っている。</li> </ul>
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接に体験によるインパクトは大きい。働くこととは、「お金のため」以外にたくさんの大切なものがあることを知ることができた。</li> <li>・マナーや礼儀など、日頃からの大切さを実感できた。</li> <li>・近隣の中学校との期日の調整が難しい。市内ではできて隣接市とはなかなか調整できない。そのため体験は2日間に限定されてしまっている。</li> <li>・コロナ渦で2年間実践できていない。今後の形を考えていかなければならない。</li> </ul>

エ) 第2学年「立春日」

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白井市特有の伝統ある式典であることを知る。(第1回開催は昭和39年)</li> <li>・多様化する生徒の個性・能力・適性を配慮し、「自覚」「立志」「健康」の目標を掲げ、人間性豊かな生徒の育成を目指し、充実感のある学校生活の推進を目指す。</li> <li>・内面的な「自己の確立」、外面的な「社会の一員としての責任」を感じさせる。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会を組織し、生徒が中心となって全体を運営する。作文発表・立志の言葉・職場体験の発表・合唱を式中に盛り込むが、年によって内容に違いはある。(講演を実施した年もある)</li> <li>・クラス内発表会を経て、学年の代表者を選定し、式典にて発表する。</li> </ul>
参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学年生徒・校長・教頭・教務・2年職員・保護者・職場体験させていただいた事業所代表・1年生</li> </ul>
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式典の準備練習から本番の運営までを生徒達の手で行うことで、中学2年生としての自覚と責任を感じさせることができた。</li> <li>・職場体験学習を中心とした中学2年生での職業学習の集大成の場とすることができた。</li> <li>・準備、練習などにかなりの時間が取られる。行う時期によって、予餞会準備との両立が難しい。</li> <li>・コロナ渦で昨年度は実践できていない。今後の形を考えていかなければならない。</li> </ul>

<資料3>を参照

オ) 第2学年職業講話「いつかは職業人」 ハローワークとの連携

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の職業生活に向けての知識を深め進路学習に興味関心を高める。</li> <li>・職業関係の専門の方から現在から未来に向けての社会の情勢や職業の状況、選択する時に大切にしなければならないことを知る。</li> <li>・事後のキャリアプランニングにつなげていく。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業安定所 新卒応援ハローワーク職員による職業講話を行う。</li> <li>・「働くこととは」「仕事の選び方」「仕事に就くまでの流れ」「正規雇用と非正規雇用の違い」「新卒者の定着度・離職率」「働くにあたって必要なこと・企業が求める人材」等、職業の専門の方ならではの話を願います。</li> <li>・職場体験学習や社会に出たときに生きる、中学生のうちに身につけたいマナー・モラル・あいさつの練習なども行う。</li> </ul>
講師	船橋職業安定所 新卒応援ハローワーク職員2名
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員が、準備した内容の職業学習との内容の差はあまりないが、職業の専門の方からの話ということで生徒達も興味深く話を聞いていた。</li> <li>・質問の場を持ったが、いろいろな観点からの質問に対して、丁寧に応えてくれたため職業に関する興味関心が高まった。</li> <li>・非正規雇用は一元的に不利益ばかりではなく、その人のライフスタイルにあった形で必要なものであることに気づくことができた。(教職員の指導ではたどり着けない内容)</li> <li>・職業学習では、どこまでを教師主導での進路学習として実施し、どこからを外部の方をお願いするかをはっきりとさせていかないとけない。</li> </ul>

<資料4>を参照

カ) 第3学年 進路集会

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路選択への関心・意欲を高める。</li> <li>・近隣の高校、公立と私立の違いや特色を理解する。</li> <li>・高校の先生が思う「高校について」「高校進学についての心構え」を話していただき、進学の意味、将来につなげる進路選択に興味関心を持つ。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の各高等学校から先生方を招き、高校の紹介、特色などを話していただく。</li> <li>・異校種間交流で高校から本校に転任し、また高校に戻られた校長先生にも講師を依頼、中学校と高校の違いを話していただき、進学への心構えを持った。特に学校生活の実態や意識の違いがよくわかり、生徒・保護者だけでなく、職員もよい学習の機会となった。</li> </ul>
参加者	3学年生徒・保護者
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校と高等学校の経験を持つ元校長先生からの話は、今の中学生に対して適切でポイントを突いたものとなった。生徒達も中学校と高等学校の違いを理解できた。</li> <li>・近隣の高校の先生方の話も大変参考になった。</li> <li>・時間の関係で学校数が限られ、興味のあるなしで生徒達を分けることはできなかった。高校案内に関しては、それぞれが参加する高校説明会等のほうが有意義なのではないか。</li> </ul>

<資料5>を参照

キ) 第3学年 全教職員による 面接指導

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な対人・コミュニケーションマナーを知り、社会性を身につけさせる。</li> <li>・教職員全体で3年生の進路決定に関わると共に、進路に関わる教職員としての研修の場とする。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3学年生徒を12グループに分け、24名の教職員が2人組として指導に当たる。</li> <li>・私立高校第一希望者は、校長または教頭先生が行う。</li> <li>・個々の受け答えを重視するため全員がグループ面接として行う。</li> <li>・学級での指導、練習が終わった後の入試用模擬面接とし、緊張感を高める。</li> </ul>
参加者	3学年生徒・全教職員
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入試における面接の大切さを感じている大多数の生徒にとって、真剣な取り組みが見られた。自分に甘い価値観の生徒達への指導はなかなか難しい。</li> <li>・教職員も2人組にすることで、ベテランの観点や技術を進路未体験の若手教職員へも良い研修の場となった。</li> <li>・学校全体で進路に関わっているという良い実践になった。</li> <li>・教職員のスケジュール調整が難しい。</li> </ul>

ク) 全学年 行事前後の系統的な生き方学習

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事への取り組みはその生徒個々の「生き方」と捉え、「何を目標とするか」、「自分はどう取り組むか」を考えさせ、行事前に掲示することで自分の意志表明の場とする。</li> <li>・行事後の振り返りでは、自分の反省だけでなく、頑張っていた周りにも目を向け、集団との関わりを知る。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事前の「行事に向けて」と行事後の「行事を終えて」を一貫した項目で行う。</li> <li>・「自分はこうしたい」→実践→「事後反省と頑張っていた友人」を考えていく。</li> </ul>
事後	・作成したものは、ポートフォリオとして掲示する
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の決意を行事前に表明することで、その行事の意味、大切にしたいこと、その取り組みの中で自分を考えることができた。</li> <li>・反省では、自分の反省だけでなく、頑張っていた周りに目を向けることで、友人の良さ・大切さ、集団に支えられている自分を改めて意識することができた。</li> </ul>

<資料6-1 6-2>を参照

ケ) 全学年 日常生活のなかでの具現化 年度始めの抱負・年度末の反省と課題

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の役割と責任を意識し、期待に応える自分とはどうあるべきかを考える。</li> <li>・日常生活のなかでの小さな取り組み、小さな選択ひとつひとつが、その人の生き方に大きく影響を与えることを意識させる。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度始め、年度終わりに、自分自身を考えることを大切にする。</li> <li>・学校生活のなかで、「〇年生として」「△部として」といった問いかけをし、考えさせる機会を多く持つ。自分や自分を含む集団の取り組みを考えさせる。</li> </ul>
事後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作成したものはポートフォリオとして掲示する。</li> <li>・年度始めの「〇年生になって」年度終わりの「△年生を終えて」は全学年で取り組み、共通にキャリアパスポート資料としてファイリングする。</li> </ul>
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「〇年生として」「△部として」を意識させることは、学校生活に目的を持ち、次はこうしたいという向上意欲につながっていくと考えられる。</li> <li>・個々の考え方になるので、細かな内容の指導は難しい。掲示されるものとして意識させたい。</li> </ul>

<資料7-1 7-2参照>



コ) 全学年 計画的な学級活動による進路指導

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間を通じて、その年齢、時期に合った進路指導を計画的に行うことによって、より自分の進路に興味関心を持ち真剣に考えることができる。</li> <li>・学級、学年集団を中心とした指導により、知識や経験を集団として共有化し、個人として内面化してまとめあげることができる。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の年間計画を作成し、各学級同一歩調で進める。「中学生活と進路」を活用。</li> <li>・3学年は、学年便りを用いた進路学習を帰りの短学活でも行う。</li> <li>・「仲間同士の人間関係」「主体的活動の動機付け」「将来や夢を共に考える」ものを大切に行う。</li> </ul>
事後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作成したものはポートフォリオとして掲示するものと自分のファイルに綴じていくものとに分ける。(個人情報が含まれるもの、自分の決意を発表するもので分ける)</li> <li>・年度末に、年間5種類をキャリアパスポートとしてファイリングし、その他のものは学活・総合ファイルに綴じていく。</li> </ul>
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級担任と生徒との信頼関係が育まれる場となる。個になりがちな進路に対して、「みんなで考える」「話ができる大人や友人がいる」ことを意識させることができた。</li> <li>・学年便りによる進路学習を各学級担任に行ってもらうことで学年共通の内容を学年集会だけでなく生徒達に理解、考えさせることができた。</li> </ul>

サ) 全学年 一貫した内容でのキャリアパスポートの作成

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育における学びをポートフォリオ的な教材として蓄積し、時に振り返り、それらを将来につなげ、主体的に学ぶ力を育てる。</li> <li>・小学校、中学校、高等学校を通じて、自らの学習状況やキャリア形成を見通し、振り返りと共に自己評価を行うことで、将来に向かっての自己実現につなげていく。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校におけるキャリア教育として取り組み、学びのプロセスを記述し振り返ることができるポートフォリオ的な教材を選び、キャリアパスポートとしてファイリングする。</li> <li>・高校、上級学校へ持って行くことを意識して、内容を定める。本校では「年度始めの決意」「年度終わりの反省と今後」「働くこと(職業関係を含む)」「学び続けること」「進路計画(キャリアプランニング)」の5種類をファイリングする。</li> </ul>
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアパスポートの内容を1年間で5種類に限定するのはなかなか難しい。学年内共通としたが、共通が良いのか、クラスや個々で違っても良いのかは今後検討が必要である。</li> <li>・年度終わりに、ファイリング分けをすることによって、1年間学んできたキャリア教育を各自で振り返ることができた。</li> <li>・中学校3年間のものを一貫したものとし、上級学校や将来につなげていけたら良いと思う。</li> </ul>

5 成果と課題

「職場体験」「職業人に話を聞く」等に代表される、啓発的体験活動は、生徒達にとってより強いインパクトを与え、興味深く取り組むことができる。ただそれらを生徒個々の将来を考える「生き方の指導」につなげるためには、年間を通して計画的な進路指導が必要である。体験すれば良いのではなく、この体験の前に、何を準備し、知識をどう深めていくことが大切で、事後はそれらをまとめていく活動が大切になる。改めて、学級における学級活動によるキャリア教育が大切であることが実感できた。また、日常生活の中における活動や指導で「生き方」を示し、考えさせる活動はとても有用であると思える。年度初め、年度終わり、行事の前後といった機会に、「自分はどう思い、どう活動するか」「自分はどうしたか、頑張っていた仲間は」を考えていくことで、自分の生き方とはを考えると共に、仲間や集団の大切さを感じさせることができたと思う。コロナ渦で、地域に出て行っている活動が大きく制限される中、ICTの活用などで、新しい体験的活動も考えていかなければならない。

働く人についてみよう

職業	塾講師(教室長)	ピアノ調律師 ピアノアドバイザー
勤務先	ITTO個別指導学院	島村楽器
経歴年数	不明	3年目
仕事内容	・教室運営 ・勉強指導	・調律 修理・販売 ・ホームページ作成 イベント
仕事に就いた理由	勉強を楽しいと思える子どもを増やしたいから	やりたい仕事だったから。 音楽や細かい作業が好きでこれに就きたい。
必要な資格や免許	教室長資格	ピアノ調律師技能士
向いている人は?	子供が好きの人	・ピアノが好きな人。こだわりを持ちたい人。 ・人にたいさうな人 ・心が強い人・集中力のある人
良かったと思ったことは?	生徒が志望校に受かり、喜んでくれる顔を見たとき。	・言葉にして音程がよくなったとき ・お客様に喜んでくれたとき ・よいピアノ提案できたとき
辛いと思ったことは?	ない	ない
何のために働いているか?	少しでも多くの生徒が夢や目標に向かって歩んでいけるように。	ピアノや音楽の楽しさを一人でも多くの人に知ってもらい、その人の人生がより豊かになり、幸せになってもらうため。
これからの夢は?	生徒の夢が叶うこと。	ピアノ以外の事も勉強し、音楽の幅を広げる(他のアコースティック)
アドバイス	自分を知り、自分自身を大切に。自分の本心にやりたいことを見つけてほしい。	やりたいことをみつけ、ビジネスを確立させる。
話を聞いて感じたこと考えたこと	若狭先生がこんなことを思っていて教えてくれているんだなと感じました。これからは勉強も頑張りましょう。これからは勉強も頑張りましょう。夢に向かっていきたいと思います。	ピアノ調律師という職業に興味を持っていてのとお話からきけて嬉しかったです。特に今の作業は動いているかを感じました。

(2) 氏名 \_\_\_\_\_

働く人についてみよう

職業	会社員	保育士
勤務先	京千代田区	福岡県
経歴年数	18年	3年
仕事内容	システム運用	保育
仕事に就いた理由	プログラムの仕事をしたかった。	保育の仕事をしたかった。
必要な資格や免許	プログラミング 総務	保育士資格
向いている人は?	深ぼってやる人	子供が好きの人
良かったと思ったことは?	プロジェクト成功させた達成感	子供の成長に対する喜びを保護者と共有できる。
辛いと思ったことは?	夜間勤務	早出の早起き
何のために働いているか?	家族を養うため	くらしをよくするため
これからの夢は?	お金もちになりたい。	子どもがまじめに育つように。
アドバイス	好きなことを追究する。	早め早めの行動力
話を聞いて感じたこと考えたこと	仕事をしている人と大変なことがあることがわかった。	早出の早起きは苦しいが、保育士には必要不可欠なことです。

(2) 氏名 \_\_\_\_\_





<資料4>

ワークシート

仕事 君はどう思う？(DVD約27分)

■DVD視聴をして

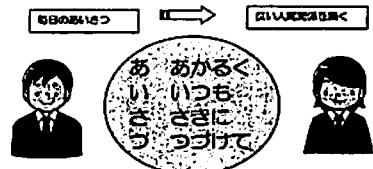
職業	仕事の内容	あなたはどう感じるか？
花屋	・花の店での花の束の作り ・花の飾り ・花の飾り	花の束の作り、花の飾り、花の飾り
看護師	・病室に居る病者 ・病者のケア	病室に居る病者、病者のケア
大工	・家の工 ・木の加工	家の工、木の加工
音楽	・楽器の演奏 ・楽器の演奏	楽器の演奏、楽器の演奏
アニメーター	・アニメーションの制作 ・アニメーションの制作	アニメーションの制作、アニメーションの制作

3

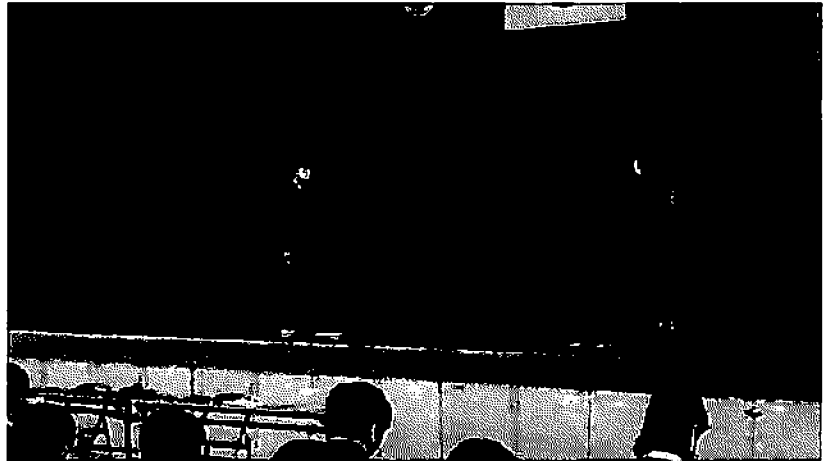
# 今からやろう あいさつと礼儀作法

特別に  
ことじやない!

**あいさつ・礼儀作法**は社会生活でも学校生活においても必要なこと！  
高校入試の面接の時も、「そのときだけやればいじだろう」という考えは通用しません！  
いつもの姿勢が出てしまいます。  
だから・・・今から気をつけましょう。



10



学年全体で、あいさつと礼の練習です。



中学校最後の体育祭に向けて

3年 A組(男)

令和3年度体育祭スローガン

～ 破竹 ～



激しく止めようがない快進撃のこと

こんな体育祭にしたい

中学校で最後の体育祭なので、皆が楽しく元気に、練習してきた思い出と思えるような体育祭にしたいと思う。

また、一時の思い出になるようなすばらしい体育祭にしたい。



そのために私は次のことを頑張ります

そのためには、日頃の練習から、一体感を大事にして、声を出し合い、大変な練習でも元気で、協力し合えると思う。



また、亦、青共に、お互いを応援し合うことと、良い印象を残す体育祭になると思う。

私は 会場設営

係 になりました

会場設営 係として こういった活動を頑張ります。

会場設営係として、体育祭当日に仕事がない分、準備時間などには、テントの設営や、コースを設置したり、草抜きなどの仕事を積極的に頑張りたい。



(印)

中学校最後の体育祭に向けて

3年 C組(男)

令和3年度体育祭スローガン

～ 破竹 ～



激しく止めようがない快進撃のこと

こんな体育祭にしたい

みんなが楽しんでみんなが盛り上げる体育祭にしたい。  
長縄でワスの回転を深められるように音が  
声を出したい  
競技で10組の一回員という意気持を持って全員が取り組むこと。



そのために私は次のことを頑張ります

1人1人を頑張りたい。最高学年として一・二年生に声をかけ、現場に責任を持つ。  
応援を頑張りたい。皆一杯声を出して応援したい。  
競技を頑張りたい。組の勝利のために全員が取り組む。



私は 召集・誘導

係 になりました

召集・誘導 係として こういった活動を頑張ります。

20分をやるのは2回目なのである程度流れはわかっているから、教員に任せたりしてリードしていいと思う。  
また声を出して皆が集合に遅れがないように頑張る。







2年生を振り返って ～最上級生に向けて～

2年 D組(28)

<2年生を振り返ってみよう>

1. この1年間をひと目で表現してみよう

成長

2. 2年生の1年間を振り返り、頑張ったこと・できるようになったことを書きましょう。

<p>&lt;学習面&gt;</p> <p>前よりも勉強への意識が良くなった。</p>	<p>&lt;生活面&gt;</p> <p>挨拶を心配った。 靴箱をきれいにそろえた。 ロッカーの中引き出しの中は常にきれいな状態と思う。</p>
<p>&lt;行事&gt;</p> <p>体育祭を頑張った。 (優勝できるまで) 合唱コンクールも頑張った。 (優秀賞とれど)</p>	<p>&lt;部活動・校外活動&gt;</p> <p>11秒台に突入できた。 (100m) 200mで年上に勝つ3位に入れた。</p>

<自分の将来や進路について考えよう>

3. 将来の夢・希望の職業(複数可)とその理由を書きましょう。

<p>トヨタ自動車</p>	<p>その理由は 車が好きだから。 親もトヨタだから。</p>
---------------	---

4. 中学校卒業後の進路希望(具体的な名前も可)と実現のために頑張ることは何ですか。

<p>頭のいい高校。 楽しい。</p>	<p>実現のために頑張ることは なるべく勉強する。 悪さをしない。</p>
-------------------------	---

5. 3年生の自分に向けて声をかけよう。

県大会入賞も  
勉強も頑張ってくれ

2年生を振り返って ～最上級生に向けて～

2年 D組(31)

<2年生を振り返ってみよう>

1. この1年間をひと目で表現してみよう

自分自身が変化することができ、充実した1年間。

2. 2年生の1年間を振り返り、頑張ったこと・できるようになったことを書きましょう。

<p>&lt;学習面&gt;</p> <p>1年生の第4回定期テストの反省を踏まえて、2年生の第1回定期テストでは(教科書の重要箇所を教科書のIPで確認)を目標に、また、自主学習の質の向上を図ることに努めた。また、自主学習の質の向上を図ることに努めた。</p>	<p>&lt;生活面&gt;</p> <p>部活動・美に福祉委員として、2分前席の時ばかり、5K-2(清掃開始10分前)の清掃作業を行い、結果的に頑張った。自分の休む仕事・委員会の仕事の役割に努めた。</p>
<p>&lt;行事&gt;</p> <p>今年度は、1年生と(バレーボール)で優勝した。3年生と(バレーボール)で優勝した。バレーボールの優勝は、自分自身も頑張った。バレーボールの優勝は、自分自身も頑張った。</p>	<p>&lt;部活動・校外活動&gt;</p> <p>バス、部活動の質は向上した。1年生のバレーボールに、時間の余裕がなくなった。練習試合のバレーボールで、優勝した。バレーボールの優勝は、自分自身も頑張った。バレーボールの優勝は、自分自身も頑張った。</p>

<自分の将来や進路について考えよう>

3. 将来の夢・希望の職業(複数可)とその理由を書きましょう。

<p>医療関係 (看護師)</p>	<p>その理由は 小学校高学年頃から興味があった。 夢は(看護師)で、今は世界中で新型コロナウイルスが流行している。看護師は大切な仕事だ。</p>
-----------------------	---

4. 中学校卒業後の進路希望(具体的な名前も可)と実現のために頑張ることは何ですか。

<p>鎌倉高校</p>	<p>実現のために頑張ることは 大学受験は卒業して、取得して、1日1時間半～3時間勉強を続ける。</p>
-------------	--

5. 3年生の自分に向けて声をかけよう。

自分の目標に向かって諦めずに努力して、笑って、いかに毎日頑張る。Fでい。

最上級生の自分 ～何ができる・何に取り組む～

3年 A組(男)

<3年生になって>

1. この1年間をどんな1年間にしたいか自分の言葉で表そう。

悔いのない1年間にし、受験に向けて勉強を頑張りたい。

2. この1年間に楽しみにしている行事・活動を書きましょう。(この行事でこんな活動をしたい)

・修学旅行(評議員としてみんなをため思い出に残る行事にしたい)

3. 頑張ること・できるようにになりたいことを書きましょう。

<p>&lt;学習面&gt;</p> <p>学習面では受験に向けて1,2年生のときの復習を前期までしっかりとやりました。また、苦手な教科は新しく学ぶところはよく勉強していきたいと思いました。社会と数学を特に頑張りたいと思いました。</p>	<p>&lt;生活面&gt;</p> <p>生活面では挨拶を特に頑張りたいと思います。クラスで会った先生方や後輩に自分から相手に聞かせる声の大きさを頑張りたいと思います。また、2分前席席などの時計を見て行動するということも頑張りたいと思います。</p>
<p>&lt;行事&gt;</p> <p>行事はどれも中学校最後の行事なので悔いのないよう全力で取り組むたいと思います。どの行事も思い出に残るように全力で取り組むことが楽しみたいと思います。1年生は分からないことが多いと思うのでしっかりと教えてあげたいと思います。</p>	<p>&lt;部活動・校外活動&gt;</p> <p>部活動では副部長として責任を担い、新しく入ってきた1年生に教え、後輩から活躍する2年生にもいろいろなことを教えて、夏まで部活を全力でがんばりたいと思います。また、初段がとれるように頑張りたいです。</p>
<p>&lt;最上級生として&gt;</p> <p>最上級生として、1,2年生のよいお手本になれるよう、生活面でも学習面でも部活でも最上級生として、全力で頑張りたいと思います。自分でも考え行動したいです。今までやっていたことを生かす場面もたくさんあると思うので、生かすようにしたいと思います。</p>	<p>&lt;進路関係&gt;</p> <p>進路関係では、自分の進路の所に行けるように勉強をし、やりとをおこなう。親ともしっかり話をして決めていきたいです。自分には、た高校に行けるように努力したいです。不安は思いますが、頑張りたいです。たくさん身ごと思っている時は、頑張りたいです。</p>

4. クラスのみんなへ

今年よりよろしくお願いします。

校

最上級生の自分 ～何ができる・何に取り組む～

3年 C組(男)

<3年生になって>

1. この1年間をどんな1年間にしたいか自分の言葉で表そう。

積極的に学習に取り組む、後輩の手本になれるような1年間。

2. この1年間に楽しみにしている行事・活動を書きましょう。(この行事でこんな活動をしたい)

修学旅行 班での活動ができて、たくさん思い出を作りたい、合唱コンクール、クラスでがんばって練習して、最優秀賞を目指したい。

3. 頑張ること・できるようにになりたいことを書きましょう。

<p>&lt;学習面&gt;</p> <p>受験に向けて、授業に積極的に取り組んだり、家での学習を効率よく行えるようにする。計画的な学習をする。</p>	<p>&lt;生活面&gt;</p> <p>服装やあいさつなど、基本的なことをしっかり意識し、最上級生である自覚をもって行動できるようにする。</p>
<p>&lt;行事&gt;</p> <p>中学校で最後の行事に、積極的に参加し、たくさん思い出を作れるようにする。</p>	<p>&lt;部活動・校外活動&gt;</p> <p>コンクールに向けてたくさん練習し、1年生、2年生をまねたり引き上げたりしていけるようにする。</p>
<p>&lt;最上級生として&gt;</p> <p>学校での行動が後輩の手本となることを意識して生活する。</p>	<p>&lt;進路関係&gt;</p> <p>自分の将来についてよく考え、自分に合う進路を決定する。</p>

4. クラスのみんなへ

中学校最後の1年間よろしくおねがいします。